



第90期 中間報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日

DIJET®



ダイジェット工業株式会社

証券コード：6138

● 株主の皆様へ



代表取締役社長 生悦住 歩

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜わりまして、ありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループ第90期第2四半期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の事業の概況および四半期決算についてとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

平成27年12月

事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業を中心に堅調な企業業績に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国をはじめとするアジア新興国経済に減速傾向がみられるなど景気の動向に注視が必要な状況と考えられます。

こうした中であって当社グループにおきましては、切削工具では、得意分野の金型加工用工具である高精度刃先交換式ボールエンドミル「ミラーボール」用チップ「ジャイアントラジラスチップ」に高硬度材加工で更なる長寿命化を実現した新材種「DH102」を採用し発売したほか、穴あけ用工具においても新製品「タイラードリル」を発売する等、販売の拡大を進め、耐摩耗工具では複合新材料「サーメタル」の市場展開、新規用途の開発につとめました。また、技術サービスや新製品の開発も継続して積極的に行いました。

連結売上高は、前年同期比1.5%増の5,012百万円となりました。このうち国内販売は、焼肌チップの販売伸び悩みが影響し、前年同期比0.2%減の2,822百万円となり、輸出は、北米向けを中心に堅調に推移し、同3.8%増の2,189百万円となり

ました。輸出の地域別では、北米向けが前年同期比13.7%増の505百万円、欧州向けが同4.3%減の519百万円、アジア向けが同2.3%増の1,095百万円、その他地域向けが同34.7%増の69百万円となり、この結果、連結売上高に占める輸出の割合は、前年同期に比べ1.0ポイント増加し43.7%となりました。

製品別では、焼肌チップが前年同期比13.3%減の652百万円、切削工具が同4.2%増の3,598百万円、耐摩耗工具が同4.5%増の752百万円となりました。

収益面では、原材料価格の変動が収益性に影響を及ぼし、連結営業利益は前年同期比8.0%減の263百万円となり、経常利益は同0.1%減の267百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同20.1%減の176百万円となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、総合的に判断し、まことに申し訳ございませんが、見送りとさせていただきます。

今後の見通し

わが国産業界におきましては、新興国経済減速の影響はあるものの、円安による輸出環境の改善や原油安を背景に、国内生産は緩やかな回復基調が見込まれる一方で、生産体制のグローバル化の潮流に大きな変化はないものと存じます。

当社グループといたしましては、引き続き国内外において注力商品の販売拡大につとめるとともに、顧客ニーズに基づいた品質や納期など供給力の向上により国内販売の増大を図りつつ、国・地域など市場ニーズに沿った商品展開や物流体制を含めたネットワークの拡充により競争力を高め、海外事業のいっそうの拡大を進めてまいります。

また、電気料金的大幅値上げ等による原価の上昇に対し、徹底した原価低減を行い、製造工程の合理化や技術改善により生産性および収益性の向上につとめるとともに、新製品開発におきましては、「高速・高効率・高精度」をキーワードとして、世界市場を見据えた工具の開発や高付加価値製品の開発を進めてまいりたいと存じております。

なお、当社グループの第90期連結業績予想につきましては、売上高は10,400百万円、営業利益は640百万円、経常利益は640百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は410百万円を見込んでおります。

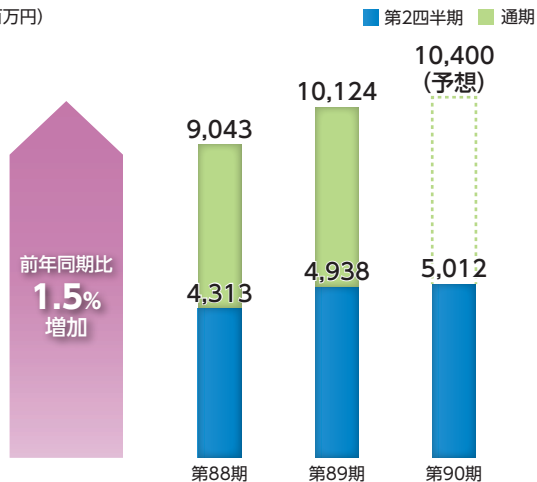
一方、企業の社会的責任を自覚し、コンプライアンス体制の整備および運用につとめるとともに環境保全活動にも積極的に取り組み、社会貢献にもつとめてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 連結決算ハイライト

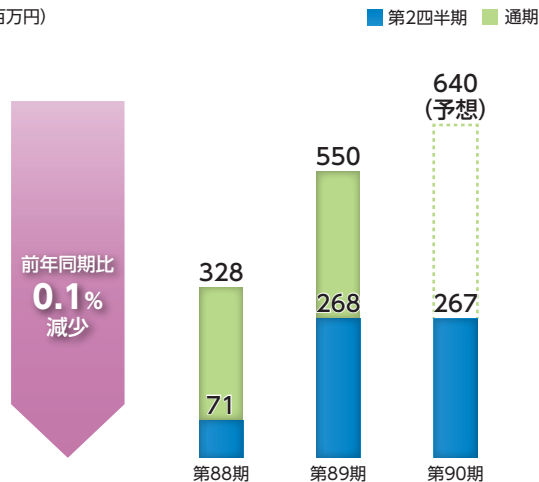
▶ 売上高

(百万円)



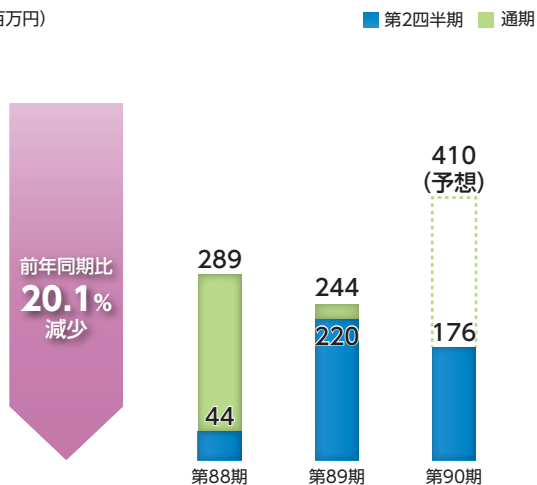
▶ 経常利益

(百万円)



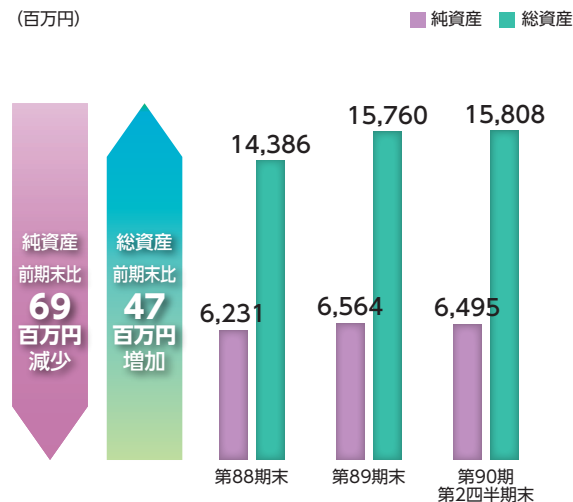
▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)



▶ 純資産／総資産

(百万円)



● トピックス

環境調和製品の開発

当社は、地球環境の保全、汚染の予防を認識し、循環型社会の視点（3R：Reduce, Reuse, Recycle）に立った事業活動を展開しております。製品開発においては平成19年度に始まった超硬工具協会（現・日本機械工具工業会）の「環境調和製品認定制度」に積極的に参加し、当事業年度もこれまでに5点の新製品が認定され、認定数は会員最高となる通算59点（2015年10月現在）となりました。

当社では今後ともより一層環境に配慮した製品開発を推し進めてまいります。



環境製品認定ラベル

【平成27年度認定の主な環境調和製品】

■ 『タイヤードリル』

先端がフラットな座ぐり加工用ドリル。独自の広い溝形状により切りくず排出性に優れる。通常のドリルでは加工が困難な傾斜面や交差穴でも下穴なしで安定加工が可能。炭素鋼からプリハードン鋼、ステンレス鋼、アルミ合金まで幅広い被削材に対応かつ長寿命。



■ 『SKSエクストリーム』



軸方向切込み最大3mmで1刃当たり送り $f_z = 2 \text{ mm/t}$ の高送り・高能率加工を実現した次世代高送りカッタ。逃げ角がネガポジの新形状チップを開発し、刃先強度の確保と切削抵抗の低減を両立、かつ両面6コーナ使用可能で経済的。また、新PVDコーティング材種〈JC7560〉を採用し長寿命化。

■ 『ワイルドラジアス』

インサート取り付け部にキーを設け、クランプ強度向上を図るとともに、新PVDコーティング材種〈JC7560〉を採用し長寿命化、最大切込み深さは18mmの高能率加工を実現した金型などの荒加工用刃先交換式ラジアスカッタ。



新製品

当事業年度上期におきましては、主力の金型加工用工具を中心に様々な新製品を発売いたしました。主な新製品は次のとおりです。

■ 高硬度材用コーティング材種『DH102』の開発

生産効率の向上や高速化、高精度化が求められる中で、難削材である高硬度材加工の需要がますます高まっております。

当社では、高硬度材加工向け新PVD被膜〈新DH（ダイジェットハード）コート〉と高硬度材専用母材との組み合わせによる新材種『DH102』を開発、主力製品『ミラーシリーズ』『QMシリーズ』に採用し顧客需要に応えております。



ミラーシリーズ



QMシリーズ

■ 『ジャイアントラジラスチップ』



金型仕上げ加工用高精度刃先交換式ボールエンドミル『ミラーボール』専用のラジラスチップ。従来のラジラスチップより大きなコーナRを採用し、起伏の大きい3次元形状加工に対応。さらにボールエンドミルではムシレが発生しやすい金型平面部の仕上げ加工においても、ラジラス形状により良好な加工面を得ることができ、磨き工程の時間短縮が可能です。チップ材種は、高硬度材用新PVDコーティング材種〈DH102〉および汎用〈JC8015〉を取り揃え、幅広い被削材に対応し長寿命を実現します。

欧州支店の開設

当社は、欧州における営業・物流体制の強化・効率化を図るため、営業拠点をイギリスから欧州経済の中心に位置するドイツ・デュッセルドルフに移転し、2015年1月より欧州支店として業務を開始しております。

欧州で日々激化する販売競争に対処するため、日本人スタッフを増員してマーケティングを強化、あわせてオランダに新在庫センターを置き、製品供給の円滑化と在庫管理体制の下、戦略的な販売計画を立案し、さらなる売上の拡大を図ってまいります。



● 四半期連結財務諸表（要旨）

■ 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 平成27年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 平成27年9月30日
1 資産の部		
流動資産	8,538,146	8,532,490
固定資産	7,222,537	7,276,165
有形固定資産	4,843,850	5,153,808
無形固定資産	63,477	64,455
投資その他の資産	2,315,210	2,057,901
資産合計	15,760,683	15,808,655
2 負債の部		
流動負債	4,377,910	4,279,550
固定負債	4,818,118	5,033,939
負債合計	9,196,029	9,313,490
3 純資産の部		
株主資本	5,841,610	5,928,876
資本金	3,099,194	3,099,194
資本剰余金	1,703,396	1,703,396
利益剰余金	1,082,619	1,169,957
自己株式	△43,600	△43,671
その他の包括利益累計額	723,044	566,288
純資産合計	6,564,654	6,495,165
負債純資産合計	15,760,683	15,808,655

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（単位：千円）

	前第2四半期 連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	427,536	413,649
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,487	△880,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	351,716	404,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,639	959
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	645,405	△61,181
現金及び現金同等物の期首残高	1,112,967	1,287,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,758,373	1,226,065

■ 四半期連結損益計算書

（単位：千円）

	前第2四半期 連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日
4 売上高	4,938,732	5,012,856
売上原価	3,428,464	3,434,879
売上総利益	1,510,267	1,577,976
販売費及び一般管理費	1,223,750	1,314,417
5 営業利益	286,517	263,558
営業外収益	28,496	41,619
営業外費用	46,924	37,392
5 経常利益	268,089	267,786
特別利益	55	—
特別損失	2,041	80
税金等調整前 四半期純利益	266,103	267,706
法人税、住民税及び 事業税	44,560	93,820
法人税等調整額	720	△2,661
四半期純利益	220,822	176,548
5 親会社株主に帰属する 四半期純利益	220,822	176,548

【四半期連結財務諸表（要旨）】ポイント

■ 四半期連結貸借対照表

POINT ① 資産の部⇒47百万円増加

【流動資産 5百万円減少】

現金及び預金61百万円、受取手形及び売掛金92百万円、原材料116百万円各減少、商品及び製品284百万円増加。

【固定資産 53百万円増加】

減価償却費の計上により377百万円、株価下落による投資有価証券の評価額253百万円各減少、設備投資の実施687百万円増加。

POINT ② 負債の部⇒117百万円増加

【流動負債 98百万円減少】

電子記録債務98百万円増加、支払手形及び買掛金211百万円減少。

【固定負債 215百万円増加】

長期借入金351百万円増加、長期繰越税金負債84百万円減少。

POINT ③ 純資産の部⇒69百万円減少

【株主資本 87百万円増加】

配当の実施88百万円減少、四半期純利益176百万円増加。

【その他の包括利益累計額 156百万円減少】

株式の時価評価等による減少。

■ 四半期連結損益計算書

POINT ④ 売上高⇒1.5%増加

国内は焼酎チップの販売伸び悩みが影響して売上減少、海外は北米向けを中心に堅調に推移して売上増加。

POINT ⑤ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

売上は増加したものの、原材料価格の変動による収益性への影響、販売強化等による販管費の増加、税金費用の増加などにより利益減少。

● 株式情報 (平成27年9月30日現在)

■ 株式の状況

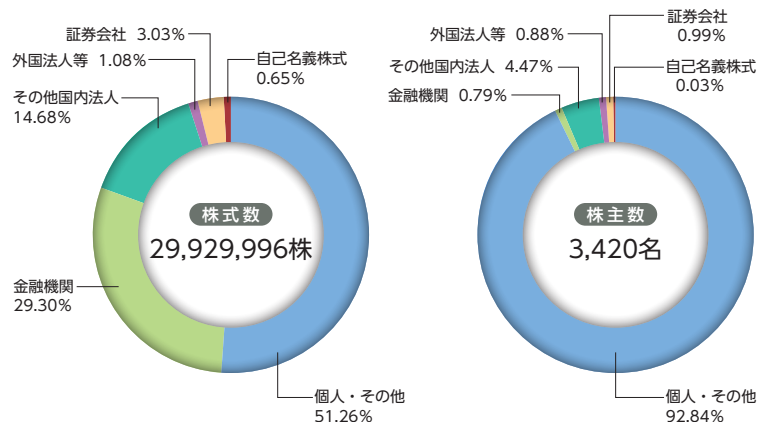
発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 29,929,996 株
 株主数 3,420 名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ダイジェット持株会	1,640	5.52
株式会社 みずほ銀行	1,476	4.97
ダイジェット取引先持株会	1,392	4.68
生悦住望	1,363	4.58
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,244	4.18
明治安田生命保険相互会社	855	2.88
共栄火災海上保険株式会社	827	2.78
株式会社 不二越	700	2.35
生悦住歩	610	2.05
株式会社 三井住友銀行	519	1.75

(注) 1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2.持株比率は、自己株式(193,580株)を控除して算出しております。

■ 株式の分布状況



● 会社情報 (平成27年9月30日現在)

■ 役員の状況

代表取締役会長	生悦住望	のぞむ 望
代表取締役社長	生悦住歩	あゆむ 歩
常務取締役 営業・製造・ 技術担当	古林雄一	ゆういち 一
取締役 経理部長	生悦住英	ひでおみ 英
取締役 総務部長	稲田伸一	しんいち 一
取締役 常勤監査等委員	中森茂	しげる 茂
取締役(社外) 監査等委員	田畑よし	よし 二
取締役(社外) 監査等委員	小島康秀	やすひで 秀

■ 事業所および主要な子会社等

国内拠点

- 本社 (大阪市平野区)

販売拠点

- 東京支店 (埼玉)
- 南関東営業所 (神奈川)
- 北関東営業所 (群馬)
- 仙台オフィス (宮城)
- 名古屋支店
- 三河営業所 (愛知)
- 浜松オフィス (静岡)
- 大阪支店 (大阪市平野区)
- 富山営業所
- 広島営業所
- 九州営業所 (福岡)

生産拠点

- 大阪事業所 (大阪市平野区)
- 三重事業所 (伊賀市)
- 富田林工場 (大阪)

海外拠点

- 欧州支店 (ドイツ)
- 上海駐在員事務所 (中国)
- 広東駐在員事務所 (中国)
- 大連支所 (中国)
- 武漢支所 (中国)
- 成都支所 (中国)
- バンコク駐在員事務所 (タイ)
- ムンバイ駐在員事務所 (インド)

主要な子会社等

- ダイジェット・インコーポレーテッド (米国)
- 黛杰漢金 (滄州) 精密模具有限公司 (中国)

● 事業所 ● 子会社 ● 関連会社

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日

公告方法 電子公告 <http://www.dijet.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〒168-8507

**郵便物送付先
および連絡先** 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号 0120-288-324 (フリーダイヤル)
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

**特別口座の
口座管理機関** 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話番号 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕
**郵便物送付先
および照会先** 届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の
指定または変更、単元未満株式の買取・買増請求などにつきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主様は、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届出ください。

(株主に関する)
各種お手続

なお、未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払いにつきましては、上記の株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社)までお申出ください。



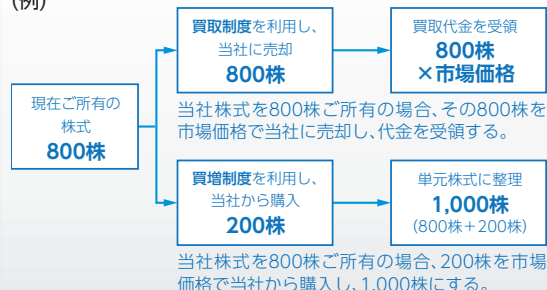
■ 会社の概要 (平成27年9月30日現在)

社名 ダイジェット工業株式会社
(DIJET INDUSTRIAL CO., LTD.)
設立 昭和25年12月
資本金 3,099,194,104円
従業員数 575名(うちパート等141名)
事業内容 超硬合金、超硬工具の製造販売
ホームページ <http://www.dijet.co.jp/>

単元未満株式の買取・買増請求のご案内

当社の単元株式数は1,000株となっておりますので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。
単元未満株式をご所有の株主様は当社に対して単元未満株式を売却する(買取請求)、または単元株式となるよう不足する株数の株式を当社より購入する(買増請求)ことができます。
お申出先につきましては、左記の株主メモをご参照ください。

(例)



DIJET INDUSTRIAL CO., LTD.

〒547-0002

大阪市平野区加美東2丁目1番18号

TEL.06 (6791) 6781 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。